

# 紹介方法について

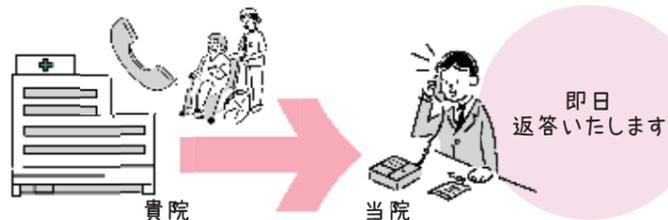
## ①転院についてのご相談・お手続きについて

お電話について、患者さまのご相談をお受けいたします。  
ご紹介の後、診療情報提供書を送信させていただきます。  
患者さま状態に合わせて、柔軟に対応させていただきます。  
※当院への送迎が必要な場合は、お気軽にご相談ください



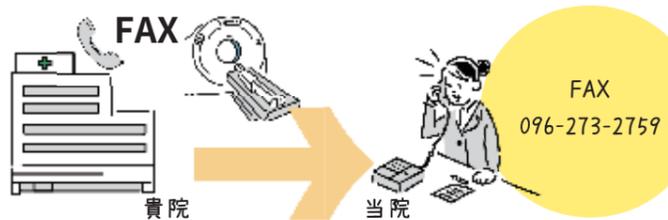
## ②外来・入院紹介について

地域医療連携室へご連絡いただき、簡単な聞き取りをさせていただきます。速やかに医師と相談の後、お受入れの可否をいたします。  
※入院の可否は外来受診後の担当医師判断になります



## ③各種検査依頼について

MRI や CT 等の検査依頼書はホームページにご覧いただけます。  
検査依頼書をご利用の上、FAX 後にお電話をお願いします。



地域医療連携室  
大村 香織 副室長



寺尾病院の地域医療連携室は

- ・ご紹介のお返事は、当日または翌日までにはご連絡いたします
- ・ご相談や患者様の症状に応じ、臨機応変に患者様をお受けいたします
- ・お電話には必ず笑顔で明るいやり取りを行います

本年度より新たに2名を増員し、  
より一層関係各機関の皆様と協力体制を築いていきます！  
ぜひご相談ください。



## 寺尾レポート

	R4.6	R4.7	R4.8
1日平均外来数	131	170	177
新規入院	69	63	71
退院	52	68	71
通所リハビリ利用者数	981	956	925

(単位:人)

○回復期リハビリテーション病棟  
在宅復帰率:78.6%  
平均単位数:5.4単位  
平均在院日数:51.9日

○地域包括ケア病棟  
在宅復帰率:83.3%  
平均在院日数:25.6日



## 交通アクセス



- ▶九州産交バス/熊本~山鹿線  
寺尾病院前バス停より…徒歩約1分
- ▶JR九州/JR鹿児島本線  
植木駅下車…タクシーで約8分
- ▶自家用車/九州自動車道  
植木インターより…車で約10分  
水道町交差点より…車で約30分

医療法人 寺尾会 寺尾病院

〒861-5504 熊本市北区小糸山町759  
TEL:096-272-0601 / FAX:096-273-2759  
URL <http://www.terao.or.jp/>

# TERAO

NEWS

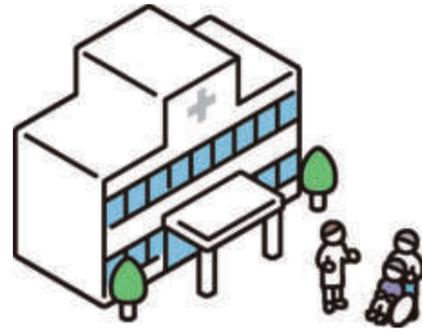


2022.9 VOL.30

# 寺尾病院入院についてのご紹介！！

## まずは病棟紹介

当院の地域包括ケア病棟(48床)、回復期リハビリテーション病棟(31床)では主に整形疾患や内科疾患全般の方々を積極的にお引き受けしております。急性期の治療後やご高齢のため在宅生活の継続が困難な方は、自宅退院へ向けての身体面・栄養面でのケアが欠かせません。特に当院ではご高齢の患者さまが多いため、継続加療に加え栄養管理を行いながら集中的なリハビリテーションを提供しております。患者さまに最善の医療支援を、退院まで一貫してサポートさせていただきます。



## 入院患者さまへの取り組み

数年前より当院ではリハ栄養に力をいれ、2020年4月より回復期リハ病棟専任の管理栄養士を1名配置しています。また、取り組みを強化するために週に1回リハリハスタッフと管理栄養士・看護師でリハ栄養会議を行っています。リハ栄養会議を始めたことでリハビリ量の増加のタイミングに合わせた栄養量の調節が行えるようになったと感じています。当院では様々な補助食品を活用しており、嗜好や嚥下状態、栄養状態などを考慮し患者さま個々に合う補助食品の提供を行うよう心がけています。また、採用している補助食品は管理栄養士・言語聴覚士で試食を行い、味・栄養・離水・形態などを総合的に判断し採用に至っています。リハ栄養介入後は体重や筋力が増加し退院される患者さまが増えてきていることから、取り組みへの成果を実感しております。



栄養会議



栄養ラウンド



患者さまに合わせたリハ栄養に取り組んでいきます。

病棟リハビリテーション課 高田 絵里奈 課長

栄養科 濱口 優貴 科長

## リハ栄養の流れ

### 入院時スクリーニング

入院時看護師にて患者の身長・体重を測定。管理栄養士が低栄養リスク判定を行う。リハビリ担当者はリハの実施時間、活動強度を提示する。  
※リスクなしの方は経過観察となります。



### 栄養アセスメント

管理栄養士、リハビリ担当者、看護師にて各患者の栄養状態のアセスメントを実施。



(週1回)

### 必要に応じて再評価

### 栄養ラウンド

管理栄養士、リハビリ担当者、看護師にて各患者の食事摂取状況を確認する。各患者の食事場面評価目標の設定を行う。

(週1回)

### 実施モニタリング

栄養会議や栄養ラウンドを実施しながら患者のモニタリングを行う。必要時再評価を行い、目標の修正、実施内容の変更をし目標達成を目指す。

低栄養リスクあり！！



リハビリ  
+  
食事調整



栄養補助食品

## 目標達成

終了



## 症例紹介

A様 入院日数 28日 病名：左大腿骨人工骨頭置換術後

	入院		退院	
体重・BMI	33.8 kg	BMI 17.2	34.3 kg	BMI 17.5
FIM	43点		67点	
下腿周囲 (cm)	R 20.5	L 20.5	R 22.0	L 21.0
握力 (kg)	R 9.6	L 10.1	R 11.7	L 10.8

### スタッフよりコメント

#### 言語聴覚士

食事評価により食形態のアップ

#### 作業療法士 理学療法士

運動の強度や運動時間の算出、筋力やFIMの測定、実施しました！

#### 管理栄養士

運動強度や運動時間からリハビリによる消費量を算出し食事量や補助食品で栄養強化。空腹感が強い患者さまであったため食事量の増加に加え10時と15時にも補助食品の提供を実施いたしました。

入院時：ミキサー食 1200kcal を提供



入院 4日目：形態アップ 1600kcal/日  
入院 8日目：10時おやつ補助食品追加 1800kcal/日  
入院 12日目：15時おやつ補助食品追加 1870kcal/日  
入院 20日目：主食量増加 2020kcal/日  
入院 22日目：夕食に補助食品追加 2160kcal/日



退院時  
軟菜食 1470kcal/日  
+  
毎食 補助食品計 2160kcal/日



## 目標達成

入院時 33.8kg BMI17.2

→退院時 34.3kg BMI17.5へ増加

FIM、下腿周囲、握力も入院時より改善した。

B様 入院日数 31日 病名：腰部脊柱管狭窄症術後

入院時：常食 1370kcal/日を提供



入院 10日目：補助食品追加 1570kcal/日  
入院 16日目：補助食品追加 1710kcal/日  
入院 23日目：補助食品追加 1910kcal/日



退院時  
常食 1370kcal/日  
+  
毎食 補助食品計 1910kcal/日

	入院		退院	
体重・BMI	41.8 kg	BMI 17.6	42.3 kg	BMI 17.8
FIM	111点		125点	
下腿周囲 (cm)	R 26	L 26.5	R 28	L 28
握力 (kg)	R 19.3	L 15.3	R 20.6	L 19.6

### スタッフよりコメント

#### 作業療法士 理学療法士

運動の強度や運動時間の算出、筋力やFIMの測定、実施しました！

#### 管理栄養士

運動強度や運動時間からリハビリによる消費量を算出し、補助食品で栄養強化。患者さまより主食量は子供茶碗の量が精一杯。甘い物は好き。食事量で無理に増やさず嗜好に合う補助食品を添付し栄養強化を実施いたしました。

## 目標達成

入院時 41.8kg BMI17.6

→退院時 42.3kg BMI17.8へ増加

FIM、下腿周囲、握力も改善が見られた。

NEXT  
寺尾病院入院紹介  
について